



第10号

(2009年) 平成21年11月

発行・編集/改革・緑新
 長野県庁県議会棟内(026)232-0087
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
 http://www.kaikaku-ryokushin.com

9月定例会 県議

新政権のもとでの県政のあり方 倉田代表先頭に理事者の姿勢を質す

9月24日から10月9日の日程で開催されていた9月定例会県議会が閉会しました。今議会に提案された議案は、一般会計補正予算等予算案5件、条例改正案5件、坑インフルエンザウイルス薬の購入について等事件案9件、専決処分報告について8件、人事案件(土地利用審査会委員・教育委員会委員)2件等です。

また、議員提案の議案として「議会基本条例」を可決しました。

一般会計補正予算は総額388億余

今議会で決定した一般会計補正予算は総額388億1901万6千円で、国の旧政権下での緊急経済対策として決められた各種基金を活用した事業や、特別養護老人ホーム等の整備、道路や河川の維持補修や7・8月の豪

新過疎法制定など 意見書や決議

意見書や決議では、「新たな過疎対策法の制定を求める意見書」、「障害者自立支援法の見直し等を求める意見書」、「核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書」等を可決しました。

新政権への 知事の評価は?

一般質問では、倉田代表が会派の一手として登壇し、総選挙の結果や新政権への評価など、知事の基本姿勢を質しました。

着した社会資本の整備、新型インフルエンザ対策、県税等還付金等々です。

さらに、委員会審議を通じて「信州まつもと空港の定期路線の存続に関する意見書」や「地域振興に資するリニア中央新幹

【倉田議員】総選挙で示された民意の受け止めと政権交代への所見は?

【村井知事】今の生活と

【倉田議員】鳩山内閣への評価は?

【村井知事】真の地方分権改革の実現に積極的に取り組む姿勢に大いに期待しているが、発足まもなくでもあり、評価をする段階にはない。

【倉田議員】国の補正予算の執行停止についての考え方は?

【村井知事】本県の6月及び9月の補正予算は国



の補正予算を前提に編成されており、地方が引き続き経済対策を実施できるように強く要望したい。

【倉田議員】今後の地方財政について基本的な考え方は?

【村井知事】新政権にあつては、地方の声をしっかりと聞きながら、マニフェストに掲げる地域主権及び地方財政の充実が実現されるよう大いに期待する。

【倉田議員】国と地方の協議機関についての所見は?

【村井知事】国と地方の協議の場は是非とも必要と考えている。対等・協力の立場でのものとなるよう、双方で十分議論を尽くすことが必要と考える。

諏訪地域 対話集会、調査研修

「改革・緑新」では国政や市町村政と同様に県政をより身近

に分かっていただくための活動の一環として、会派所属議員の選挙区地域において住民の皆さんとの対話集会を行ってきております。

今回は10月14日午後6時半より茅野市駅前前のベルビアにて会派所属全議員10人と参加者80名で開催しました。

参加者からは、●諏訪湖浄化、●土と接する環境対策、●救急車の有料化、●選挙開票の時間短縮、●野生鳥獣対策、●



失業対策としての林業への新規就業、●ハローワークでの対応、●医師不足への対応、●特養老の入所待ち対策、等に関するそれぞれの方々の意見が出されました。

出された各質問に対し、今後の議員としての取り組み方や現在の状況については、

改めて1月の県政レポートで報告をすることとしました。



富士見町・原村の花き栽培企業調査

議会基本条例を制定

長野議会基本条例が10月2日の本会議で可決されました。(無所属議員1名が反対)

07年12月に「長野県議会基本条例研究会(改革・緑新からは竹内、小島両議員が参加)が発足し、検討を重ねてきました。研究会で策定した「骨子案」と、研究会を発展させた調査会で策定した「要綱案」、それぞれにパブリックコメントも実施しました。

条例案策定過程では研究会・調査会を構成することを盛り込むことが原則であり、そのため私たちがしては不十分と思われることもあります。しかし、

松本空港の存続を求めて

自民党政権下において組織されたJAL再生のための有識者会議から出された経営再建問題をめぐり、信州まつもと空港の定期3路線が、廃止対象と報じられました。そこで、県議会の公共交通対策特別委員会において、直接前原大臣に存続の要望書の提出を決定し、9月13日に提出しました。

翌日14日には、日本航空から3路線すべてを撤退したいとの正式な申し入れがあり、その後知事、松本・塩尻両市長などが、日本航空ならびに国土交通大臣に対して、存続のための要請を行っています。

今回の論点は3点あります。第1に、飛行時間を隔日という変則的な使いづらいダイヤル編成をし

ていながら、赤字であるとの理由だけで撤退することは承服できない。

第2に、平成19年2月に日本航空側と羽田拡張の際には複便化を検討するとしている。

第3に、JALのみの就航であるため、撤退はそのまま廃港の危機となってしまう。

県議会としては、引き続き動向を注視し、地域間を結ぶ我が国全体の航空ネットワークの在り方を早急に確立するように要請してまいりたいと思います。



会派は10人に 宮澤議員が辞職

わが会派の副代表であった宮澤宗弘議員が、安曇野市長選挙に立候補するため、議員辞職しました(10月11日見事当選)。

この結果、会派のメンバーは10人となりました。引き続き県政改革のため努力いたしますのでよろしく願います。

一般質問も10回目に



小島康晴の 県政レポート

VOL 10

飯田市高羽町3-1-7

TEL・FAX(0265)23-5388



9月県議会

政権交代に対応し 地方から地域主権の発信を

一般質問

総選挙で示された現状を変えたいという国民の気持ちを受け止め、県政も変わっていかねばなりません。今回の一般質問では、組織機構改革の検証や行政のスピード感アップの取組など、県の姿勢を質しました。また、県立阿南病院のある地域の代表としても、議会の都度、地方独立行政法人化の取組の状況を確認しています。

政権交代と 県の予算編成

【小島議員】今回提案された補正予算は、政権交代をどこまで踏まえて編成されているのか。

【総務部長】政権交代による予算の見直しはまだ具体化しておらず、現在の国の予算を前提として編成している。

【小島議員】来年度予算編成に当たって、どのように対応していく考えか。

【総務部長】国においては概算要求を改めて行うこととなり、地方向けの国の歳出の枠組みがどうなるのかなど動向を見極めながら適切に対応したい。

知事から地方 主権の発信を

【小島議員】本格的な地

ごあいさつ

台風18号の被害にあわれた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

県政報告10号をお届けします。総選挙の結果、本格的な政権交代がなされました。私にとっても生まれて初めてのことであり、大きな期待と同時に戸惑うこともあり、県民の生活が第一の県政となるよう取り組んでまいります。引き続き「指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。」

方主権の改革を進めるために、知事(地方)の側から一括交付金の仕組みなど提案・発信していくべきではないか。

【村井知事】新たな政権が地方分権を積極的に進めるといことで大いに期待をしているが、例えば一括交付金についてもどういった形で交付するかまだ示されていない。

【小島議員】来年度予算編成に当たって、どのように対応していく考えか。

現地機関の 再編などの検証

【小島議員】本庁の機構改革や現地機関の再編について、その成果と課題、問題点について検証をしているか。

【総務部長】本庁については円滑に組織が機能し

ていると考えている。現地機関については、同一事務の集約による効率化や専門性の向上、情報・知識の迅速な共有などの効果が発揮されつつある。

【小島議員】申請手続きなどで2ヶ月以上かかるものがある。県民サービスの向上の観点から、行政の諸手続を全面的に見直しをすべきではないか。

【総務部長】今年度、全ての許認可事務について短縮できないかの見直しを行っている。申請者の利便性の向上に向けて、電子申請などの行政手続の電子化も図っている。今後とも、スピード感のある行政運営のための取組を進めたい。

行政のスピード 感について

【小島議員】申請手続きなどで2ヶ月以上かかるものがある。県民サービスの向上の観点から、行政の諸手続を全面的に見直しをすべきではないか。

【総務部長】今年度、全ての許認可事務について短縮できないかの見直しを行っている。申請者の利便性の向上に向けて、電子申請などの行政手続の電子化も図っている。今後とも、スピード感のある行政運営のための取組を進めたい。

【小島議員】「中期目標」に関する住民説明会の状

【小島議員】「中期目標」に関する住民説明会の状

【小島議員】「中期目標」に関する住民説明会の状

【小島議員】「中期目標」に関する住民説明会の状

【小島議員】「中期目標」に関する住民説明会の状

【小島議員】「中期目標」に関する住民説明会の状



県政対話集会(茅野市)にて

深刻な鳥獣被害・・・ 対策の強化を

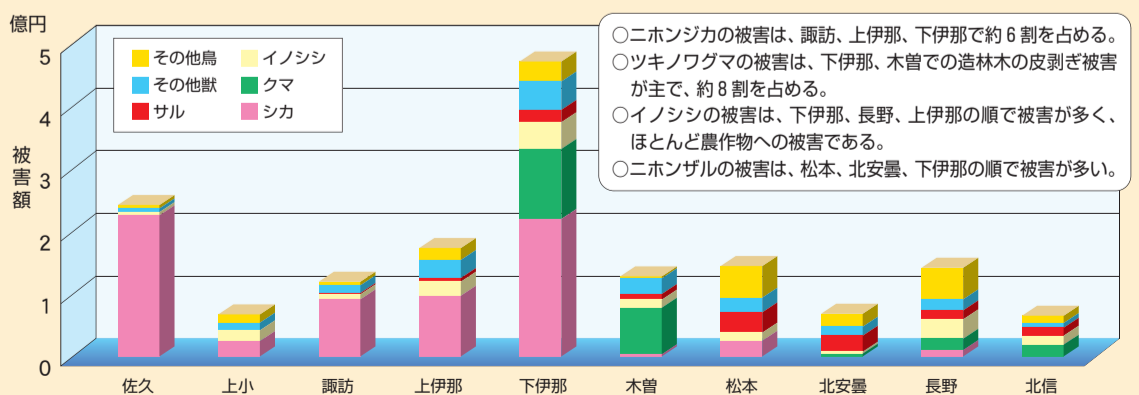
農政林務委員会から

私が副委員長を務める農政林務委員会では、農林業における鳥獣被害の状況の資料が示されました。特に、飯田・下伊那地区の被害が大きく、このままでは地域の農林業の存続すら危ぶまれます。総合的、広域的な対策が講じられるよう確認しました。



まさに万里の長城・防護柵の前で

【加害鳥獣別の被害状況】



実質Bルート のリンア決議 を多数決で

リンア中央新幹線に関する決議が審議され、残念ながら賛成多数で可決されました。私は「適時適切でない」と判断し、反対しました。

「リンア中央新幹線が地域振興に資するべき」ことに異存はありますが、そのために現在、県とJR東海と

の情報交換がなされており、知事も「まずはしっかり情報を共有することが必要」と表明しています。県民総意を代表すべき県議会が、多数決で決議することは時宜を得たものとは思えません。

また、案文には「あらかも国の決定のごとく表明を続けている」などと主観的な表現が含まれており、信頼関係を築くべきJR東海にけんかを売るような内容も承服しがたいものです。

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・緑新

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP://www.kaikaku-ryokushin.com
E-mail:kaikaku-ryokusin@grace.ocn.ne.jp